

学びの実感・結

仙台市立古城小学校
研究部だより
平成27年
12月2日(火)
No.20
文責：金子

1年2組 秋田学級「どちらがひろい」第2時

◇本年度の全校授業の最後を飾った秋田先生です。お疲れ様でした。

子供たちの話を聞く姿勢，グループ学習に取り組む前のめりな子供たちに感心しながら参観させていただきました。日々の指導の大切さをひしひしと感じた1時間でした。

◎指導案検討会から

- ◆「広い」を定着させるために，繰り返して使いたいです。
- ・子供の実態を考慮して，「広い」を協調してはどうですか？
- ・陣取りをペア学習としてはどうか。
- ◆任意単位につなげていきたいです。必要なことだと言うことを理解させたい。
- ・子供が考え（悩む）させる問題（時間）をつくりたい ですね。
- ・直接比較できないような課題を準備してはどうですか？



◎研究授業にて

《自評》

- ◆もともと1時間扱いの単元でしたが，いろいろ話し合いを進めていく中で，「分割」して考えることに重点を置こうということになり，3時間扱いに変更しました。
- ◆子供たちの感想から「自分たちで考えるのが楽しかった」「またやりたい」と言っていました。
- ◆子供たちなりによく考え，しっ

かり発表できたと思います。

- ◆時間が足りなくて適応問題までいけませんでした。「思考・発表・まとめ・適応」のための時間確保が難しかったです。

《参観者》

- 子供たちの作業に取りかかるのがとても早いと思いました。迷いなく切り始めるところがすごかった。
- 今回の図形がとてもよかった。子供たちが意欲的になれた課題だと思います。
- 20分間の活動時間は長いかと思いましたが、子度もっちの様子を見ると、時間のはじめと終で思考（解決方法）に変化があり、有意義な時間だったと思いました。
- 2人ではなく、4人ではなく、3人グループで活動したことがよかった。
- 説明の仕方がとても立派だった。
- ヒントは一度に与えすぎず、タイミングと量が絶妙だったと思います。愛は小出しに！
- 教材教具の研究が素晴らしかった。勉強になりました。
- ワークシートに「自分の考え」を書く欄があった。1年生には難しいと思っていたが、意外に書いていた、書けていたので驚いた。
- いろいろな活動を、たくさんできたので、子供たちの中に「すどん」と落ちたと思います。あらためて、具体物操作（直接 比較・間接比較等）の大切さが分かりました。



課題のリレー

(成果○・課題●)

- 教材教具の準備の大切さ。
- ヒントコーナー（小出しの愛）の出し方
- 自力解決の時間設定について。
- 全グループの発表か、意図的指名による小グループの発表にするのか。

◎お願い…

今年度も授業後に、「研究集録」ように①A3指導案、②学習活動の実際A3、年度末に③今年度の振り返りの3点セット+プリント・カード類の準備しておいてください。早めに提出して頂いてもかまいません。どうぞよろしくお願い致します。

次回の研究授業は…

12月3日（木）4年1組 齋藤学級 「面積のはかり方と表し方」です

時間が許す範囲で、無理せず、事前検討会・授業・事後検討会に参加しましょう。

★事前検討会 …12月1日 放課後

★事後検討会 …12月3日 放課後

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m